

特許ニュースは

●知的財産中心の法律、判決、行政および技術開発、技術 予測等の専門情報紙です。

(税込み・配送料実費)

定期購読料 1カ年61,560円 6カ月32,400円 本紙内容の全部又は一部の無断複写・複製・転載及び 入力を禁じます(著作権法上の例外を除きます)。

平成 29 年 5 日(火)

No. **14437** 1部370円(税込み)

発 行 所

一般財団法人 経済 産業 調査会

東京都中央区銀座2-8-9 (木挽館銀座ビル)

郵便番号 104-0061 [電話] 03-3535-3052

[FAX] 03-3567-4671

**近畿本部** 〒540-0012 大阪市中央区谷町1-7-4 (MF天満橋ビル8階)[電話]06-6941-8971

経済産業調査会ポータルサイト http://www.chosakai.or.ip/

#### 目 次

☆主要判決全文紹介[知財高裁][上]……(1)

# 主要判決全文紹介

≪知的財産高等裁判所≫

## 実用新案権無効成立審決取消請求事件

(「空気の電子化装置 | 同一性及び進歩性該当事件) [上](全2回)

-平成28年(行ケ)第10047号、平成28年10月31日判決言渡ー

甲1考案の認定を誤った結果、本件考案1と甲1考案1とは同一とし、又甲1考案及び甲2~6記載 の周知技術に基づいて当業者がきわめて容易に考案し得たものであるとした審決が取り消された事例で ある。

### 第1 事案の骨組

- 特許庁での経過
  - (1) 原告は、平成19年3月22日、名称を「空気の電子化装置」とする考案(本件考案)につき、実用

伊東国際特許事務所 大石木新坂川田永小茂岩礒田岡 實原越井井村村坂原野下部口本寿 隆公雅 \*弁理士 弁理士 弁理士 \*弁理士 伊藤藤村山藤村山 忠彦 隆夫 直樹 淳一 忠重 千秋 修博 \*弁理士 進介 隆治 前 会 長副所長 B 宮木川松中 B 崎田崎本村 副所長所長代理 副所長所長代理 \*弁理十 弁理十 ()\*弁理士 弁理士 弁理士 弁理士 弁理士 弁理士 弁理士 弁理士 樹弘雅弘 |凌岩古杉遠野谷佐猪中成加酒川田中ス柳||漫田田山山本山藤俣嶋毛藤井崎村谷~ 直満 芳晃 一論正寛 \*弁理士 止公敬可直清宏彩敏智俊寛一一奈樹志史子明子尚書 中青寺鈴岡坪川郊村木本木本井畑 弁理士 弁理士 弁理士 弁理士 - 良ß 一恵真恵央洋 東子子介樹平7 弁理士 弁理士 川へ 稲 終っ 山口 正博 板東雄二郎 佐藤 友親 日岡本井子 在 美 美 完 子 樹 弁理士 弁理士 金梶 佐藤佐々木 島村 弁理士 弁理士 \*弁理士 \*弁理士 問 弁護士 米国特許弁護士 問 弁理士 **山口** 米国弁護士(CA) **森** \*弁理士 中国弁理士 昭則 佐々木定雄 張 小珣 ジトゥ 小岩谷 韓国弁理士 

新案登録出願をし(実願2007-2789号)、同年6月20日、設定登録(実用新案登録第3133388号)を受けた(請求項の数2。本件実用新案登録)。

- (2)被告は、平成26年4月28日、本件考案の請求項1及び2に係る考案について実用新案登録無効審判を請求した(無効2014-400004号。)。
- (3) 特許庁は、平成28年1月15日、「実用新案登録第3133388号の請求項に係る考案についての実用新案登録を無効とする。」との審決をし、その謄本は、同月25日、原告に送達された。

#### 2 本件考案の要旨

#### 【請求項1】(本件考案1)

「高電圧を流した放電針から電子を発生させる放電管の先端に電磁コイルを巻きつけ、その中心部に空気を流し込むことで空気中の酸素分子を励起させることによって一重項酸素などの活性酸素種を生成させることができる空気の電子化装置。|

#### 【請求項2】(本件考案2)

「請求項1の構造において、電磁コイルから発生する熱を電磁コイルの筒 (ボビン) に流れる空気によって冷却するために、ボビンの材質を銅、アルミニウム、スズ、真鍮、亜鉛、チタンなどの熱伝導性がよく、磁気を帯びない非磁性体金属で作った空気の電子化装置。

#### 3 審決の理由の要旨

#### (1) 本件考案1について

ア 考案 (甲1考案) を、以下のように認定した。

「高電圧を流した針電極28から電子を発生させるイオン化室23の先端に『コイル18が巻かれたイオン回転室24』を設け、イオン化室23の中に酸素ガスを流し込むことで酸素分子を励起させることによって『 $O_2^+$ 、 $O_2^-$ (W)、 $O_2^-$ (V)、 $O_2^-$ 0)、 $O_2^-$ 0)、 $O_2^-$ 0 (V0)、 $O_2^-$ 1 を生成させてオゾンを生成することができる酸素ガスのオゾン発生装置 )

#### イ 本件考案1の新規性

#### (ア) 一致点の認定

本件考案1と甲1考案とを対比して、一致点を以下の通り認定した。

「高電圧を流した放電針から電子を発生させる放電管の先端に電磁コイルを巻きつけ、その中に酸素含有ガスを流し込むことで酸素含有ガス中の酸素分子を励起させることによって一重項酸素などの活性酸素種を生成させることができる酸素含有ガスの電子化装置。|

#### (イ) 相違点の認定

#### (ウ) 相違点の判断

前記(イ)の相違点は、実質的な相違点であるとはいえないとして、実用新案法3条1項3号に該当し、実用新案登録を受けることができないと判断した。

### ウ 本件考案1の進歩性

#### (ア) 相違点の判断

甲1考案の、「酸素ガス」を流し込むことで「酸素ガス」中の酸素分子を励起させることによって一重項酸素などの活性酸素種を生成させることができる「酸素ガス」の電子化装置について、「酸素ガス」を、これよりも酸素濃度が低い「空気」に代えたとき、「放電強度、回転電界強度